

平成 23 年 3 月定例会の一般質問の要旨

野崎正志（公明）の一般質問（3月9日）を要旨で報告します。

問（野崎市議） 孤立から支えあう社会を目指して。少子化などを背景に間接的な共助は弱まっている。福祉の体制整備が急務と考える。お互いに触れ合う直接的な共助を確立して、社会のあり方を変えていく仕組みづくりが大切。ボランティアポイント制度とお元気ポイントの普及について伺う。

答（市長） 新年度から健康マイレージの一環としてボランティア活動スタンプ制度は、介護施設等の活動に対して、スタンプを付与して、たまったポイントを地元産品など提供するもの。お元気ポイント制度は、サービスを受ける側の方々の自助努力に対してポイントを付与するものである。

問（野崎市議） 若者の雇用促進について、完全失業率は4.9%。改善の動きは鈍い。雇用の厳しさは以前続いている。失業率の悪化で憂慮されているのがフリータの増加である。新卒者応援プロジェクトの取り組みは、ドリームマッチプロジェクトの状況はどうか。高校生の企業訪問バスツアーの取り組みについて伺う。

答（経済部長） 応援プロジェクトは、中小企業庁の事業で現場実習を行うもの。実習期間は6ヶ月で中小業者と若者を橋渡しする事業で、三条市でも実績がある。ドリーム事業は経済産業省の事業でウェブを活用し求人等の登録と学生が面談し設定されるもの。バスツアーには、県央工業の高校生 200 名が参加した。23 年度も大学生・高校生を中心にツアーを実施し働く場の創出に努めたい。

問（野崎市議） がん検診について、三条市の検診では前立腺がん検診率が 3.8%という状況である。受診率向上への対策をどう考えているのか伺う。

答（健康福祉部長） 平成 19 年から始まった検診だが、認知度はまだ低い状態である。今後は土日の検診、複数の検診を一日で受けられるよう計画している。広報でもよりわかりやすい工夫して周知していきたい。



6月25日午後、第三総支部議員協議会を開催し、今後の取組みについて志田県代表中心に協議しました。（公明党新潟県本部）

皆様の声からカタチにしました！



U字溝を補修！（柳沢地内）



道路補修！（北中地内）

2011.7 発行・Vol.20(初夏号)

のざき正志後援会

三条市新光町 8-4 TEL 0256-35-2341

モバイルHP <http://www.koumeitou.com/giin/nozakimasashi06/>

ホームページ <http://www.komei.or.jp/km/sanjo-nozaki-masashi/>